

# 小規模企業景気動向調査

[平成30年7月期調査]

～災害や猛暑に影響を受けるも、わずかに改善した小規模企業景況～

2018年8月31日  
全国商工会連合会

## <調査概要>

調査対象：全国約300商工会の経営指導員

調査時点：2018年7月末

調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

## <産業全体> ◇…災害や猛暑に影響を受けるも、わずかに改善した小規模企業景況…◇

7月期の小規模企業景気動向調査は、産業全体の業況DI(景気動向指数・前年同月比)と売上額DIは、先月と比べるとわずかに改善した。採算DIと資金繰りDIは不変であった。上旬には西日本豪雨、下旬は台風12号と自然災害に見舞われたことに加え、全国的に猛暑の影響が色濃く反映された月となった。経営指導員からは行楽シーズンに入ったこともあり、観光関連業種の景況感は一時的に上昇傾向にあるとコメントがある一方、自然災害や猛暑により食料品の高騰や集客の低下など影響も出てきているとの報告があった。

## <製造業> ◇…猛暑に伴う需要が高まるも、内部・外部環境による影響が影を落とす製造業…◇

製造業の業況DI、資金繰りDIはわずかに悪化し、売上額DI、採算DIは小幅に悪化した。好天に恵まれ果樹や鉢物の成長が良好で、それに関連した製造業では好調を維持している。一方で、猛暑でエアコンの需要が好調であるが、人手不足や暑さによる生産性の低下、為替問題や銅・アルミニウムの原材料高により利益率が低下している。また、西日本豪雨被害により、自動車部品や工作機械の製造などのサプライチェーンに影響が出ているとの声も聞かれた。

## <建設業> ◇…西日本豪雨に伴う復旧工事増に繁忙を極めるも、燃料高・資材高の影響を受ける建設業…◇

建設業の業況DI、採算DI、資金繰りDIは先月と比べわずかに改善、売上額DIは大幅に改善した。西日本豪雨で被害を受けた地域では、復旧工事により、土木工事業を中心に繁忙を極めている。被災地以外でも、猛暑に伴うエアコンの設置工事の需要が拡大し、電気工事業が引き続き多忙な状況である。一方で、復旧工事の影響により、重機の燃料である軽油、コンクリートや鉄筋など建築資材が高騰している。また、連日の猛暑による作業効率の低下で工期が伸びているとのコメントが寄せられた。

## <小売業> ◇…連日続く猛暑により一部商材が好調であるも、業界全体の押し上げにはつながらない小売業…◇

小売業の業況DI、採算DIは小幅に改善し、資金繰りDIはわずかに改善となり、売上額DIは大幅に改善した。連日続く猛暑により清涼飲料や冷菓や氷類の売上が好調である一方、暑さを避け、高齢者が外出を控える傾向が高まってきており、全体的な消費の押し上げにはつながらない状況である。また、西日本豪雨の影響で、日用品以外の消費について、買い控えや自粛ムードが出てきており、耐久消費財では、暑さによるエアコンが好調であるのを除くと、大きな消費拡大は見られない。

## <サービス業> ◇…猛暑で改善する業種がある一方で、人の入りへの影響が出ているサービス業…◇

サービス業の業況DI、採算DIは先月と比べわずかに改善し、資金繰りDIは不変となったが、売上額DIはわずかに悪化した。猛暑により、地域によっては理美容業では来店数が増加したり、家電設置・修理等のサービス業ではエアコンの設置・修理の依頼が殺到しているとの声が聞かれた。一方で、本来であれば夏の行楽シーズンの好天は歓迎するところだが、記録的な猛暑によりイベント中止や外出抑制が出ているなど人の入りに影響が出ているとのコメントが寄せられた。

業種	産業全体			製造業			建設業		
	6月	7月	前月比	6月	7月	前月比	6月	7月	前月比
売上額	▲ 10.4	▲ 8.8	1.6	▲ 3.7	▲ 6.9	▲ 3.2	▲ 1.0	4.0	5.0
採算	▲ 15.3	▲ 14.9	0.4	▲ 12.7	▲ 16.6	▲ 3.9	▲ 10.3	▲ 9.0	1.3
資金繰り	▲ 11.3	▲ 11.0	0.3	▲ 9.9	▲ 11.2	▲ 1.3	▲ 8.9	▲ 7.6	1.3
業況	▲ 14.2	▲ 12.9	1.3	▲ 9.4	▲ 11.1	▲ 1.7	▲ 6.4	▲ 4.9	1.5

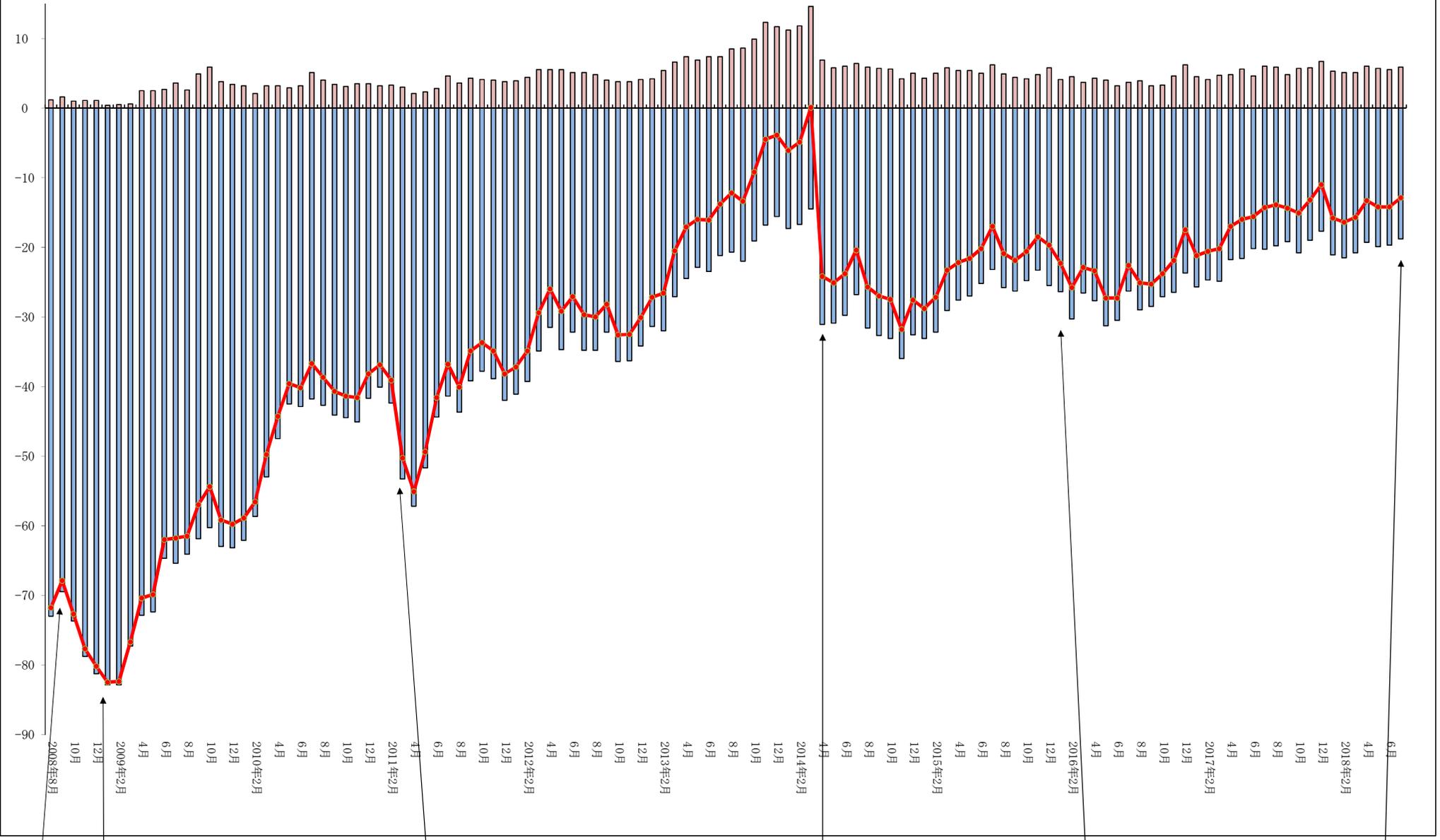
業種	小売業			サービス業		
	6月	7月	前月比	6月	7月	前月比
売上額	▲ 23.2	▲ 17.0	6.2	▲ 13.6	▲ 15.5	▲ 1.9
採算	▲ 22.8	▲ 20.2	2.6	▲ 15.2	▲ 13.7	1.5
資金繰り	▲ 15.9	▲ 14.1	1.8	▲ 10.4	▲ 10.9	▲ 0.5
業況	▲ 24.5	▲ 20.5	4.0	▲ 16.4	▲ 15.3	1.1

注) DI(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。

# 小規模企業景気動向調査(月次)

## 産業全体の業況…過去10年のトレンド…

■悪化  
■好転  
●DI



08年09月15日  
リーマン破産  
法適用申請

09年1月  
調査開始以来最低数値  
(-82.5)記録

11年3月  
東日本大震災

14年4月  
消費税率8%に引上げ

16年2月16日  
日銀マイナス  
金利導入

18年/7月  
-12.9

## 小規模企業景気動向調査(7月期)における商工会経営指導員の主なコメント

\*コメントについては、経営指導員回答の原文を掲載。

### 1. 景気全般

#### <改善傾向を示すコメント>

- ・インパウンドの外国人旅行者が増加している。大きな需要の起爆剤となっている。  
(富山県高岡市商工会)
- ・好天が多く飲食、宿泊等観光関連業はやや稼働状況が良かった印象。建設業は堅調に売上確保がなされている。  
(宮城県みやぎ北上商工会)
- ・観光シーズンに入り、小売業や宿泊業、サービス業といった観光産業に関する町内事業所の景況感は上昇傾向にある。  
(沖縄県本部町商工会)
- ・平成30年5月20日天草五橋新1号橋(天城橋)の開通により上天草市への観光客の増加傾向にあるが、飲食店やお土産店の利用増加にはつながっている。7月9日より、上天草市の補助金2,100万円を活用し(天城橋開通記念)プレミアム商品券事業1億円(プレミアム10%)や観光クーポン券事業(千円券×1万枚)を実施しており、上天草市内での消費につなげて取組みを実施している。(9月末まで)。地元金融機関の融資については、創業支援資金・金融円滑化資金・小規模事業者おうえん資金等を斡旋しているが、貸出の支援体制は良好と思われる。  
(熊本県上天草市商工会)
- ・7月豪雨災害の被害は当地区にはあまりなかったものの、近隣地区において甚大な被害をもたらしており、地区内の特に建設関係の業者は災害対応、災害復旧に係る消耗品等を扱う業者の売上が好調であった。  
(広島県広島安佐商工会)

#### <悪化傾向を示すコメント>

- ・唐桑町としては気温の上昇とともに観光需要が好調に推移している一方で地域住民の購買は買い控え傾向が続いており、観光産業と地元商店の乖離が激しい。  
(宮城県本吉唐桑商工会)
- ・草津白根山の噴火による交通規制により、ツーリングによる宿泊客が減少している。夏休みの繁忙期を控えて懸念材料である。  
(長野県山ノ内町商工会)
- ・天候不順も有り、天候に左右される業種に当たっては売上の減少等が見られた。資金繰りは安定しており、資金需要は停滞気味である。天候不順、水害により農業は生育遅れ約1週間、漁業はうに漁が大幅減となっておりその影響が年末に商工業者へ波及されるか懸念している。  
(北海道小平町商工会)
- ・金融機関の貸出態度については、特に変化は見られない。食料品製造業や食料品小売業は、仕入単価の上昇や猛暑の影響か、一部商品の売上増を除くとやや減少傾向である。  
(茨城県守谷市商工会)
- ・今夏の天候不順により、道の駅などの観光スポットの客足は乏しい。猛暑の影響で、花卉栽培や畜産業などにも影響が出ている。  
(大分県佐伯市番匠商工会)
- ・全体的に大きな変化はないが、猛暑の影響で食品の高騰が懸念される。金融機関は積極的な貸出態度であるが、設備投資を実施する企業は少ない。  
(群馬県群馬伊勢崎商工会)

### 2. 製造業

#### <改善傾向を示すコメント>

- ・自動車関連の製造業は継続的に高操業状態が継続しており、設備投資に積極的。  
(岡山県瀬戸内市商工会)
- ・特産品であるほおずきの出荷が盛況。浅草など関東圏まで取引先を広げている事業所もある。  
(大分県佐伯市番匠商工会)
- ・養蜂関連は需要が増加傾向にあるものの、生産者や製造量の減少から供給が追い付いていない状況。業界的には好転。  
(静岡県静岡市清水商工会)
- ・旬のフルーツでパインアップルをジュースや焼き菓子等を加工する食品製造業では、今期のパインアップルの出来は豊作で糖度も高く品質もよりのということもあり、7月から8月にかけて繁忙期を迎えており、販売面でも売上増が見込まれる。  
(沖縄県本部町商工会)

#### <悪化傾向を示すコメント>

- ・塩ビ管製造業であるが、従業員の高齢化や人手不足による人材面において課題を抱えており、人財確保が急務となっている状況である。  
(茨城県坂東市商工会)
- ・ものづくり補助金の採択事業者が工作機械等大型機械を導入する際、受注生産のため納品が12月末の事業終了期間に間に合わないケースが生じている。  
(富山県高岡市商工会)

- ・当地域の主要産業の一つである木製品製造業で原価が上昇しており、取引先に対する価格改定の動きが見られる。  
(富山県庄川町商工会)
- ・食品関連の製造業は、仕入単価が上昇傾向にあるが価格に転嫁できずに採算がとりにくくなっている。  
(長崎県松浦市福鷹商工会)
- ・機械金属の溶接業では、受注が増えているが、納期も短く単価についても低い。したがって、業務量は増えているが、採算性が悪い状態が続いている。  
(石川県宝達志水町商工会)
- ・金属部品製造業は材料が高騰しているものもあり、利益率が低下している。  
(滋賀県大津北商工会)
- ・西日本豪雨被害の影響が管内の自動車部品製造などのサプライチェーンに影響している恐れがあるものの、詳細は確認できていない。石油価格の上昇やアメリカ合衆国の貿易政策など国外経済状況の不透明感が高まり、楽観的な見方は少ないように見られる。猛暑も製造現場の作業に影響を与えている模様。  
(静岡県富士市商工会)

### 3. 建設業

#### <改善傾向を示すコメント>

- ・7月7日未明の西日本豪雨災害の復旧工事で多忙である  
(広島県三次広域商工会)
- ・公共工事も入り始め、土木工事業も仕事が忙しくなっている。建築関係も安定した受注はあるようで引き続き好調な状況を維持している。一方で連日の暑さから現場作業員の効率が下がっており、工期が伸びているとの話もあつ  
(福岡県鞍手町商工会)
- ・道路工事や公共施設の耐震工事など長期にわたる公共工事等により建設業の経済活動は活発化をみせている。住宅着工数の伸び悩みが強く、民間工事は依然として低調であり停滞している。一方で猛暑の影響からエアコン需要が増大し、電気工事業では取付工事で忙しくなった。  
(兵庫県川西市商工会)
- ・土木工事業では、平成30年7月豪雨災害の影響で重機や2tダンプの被害が出ており、買い替えるための資金調達相談が寄せられている。ただし、今後については地域内での復旧作業が見込まれることから受注増加が予測されている。  
(岡山県岡山北商工会)

#### <悪化傾向を示すコメント>

- ・現在は影響がないが、しばらくしたら、豪雨復興の影響で建築資材が高騰することが予想されている。来年消費税UP見込みの中で建築資材の高騰は影響が大きい。  
(岐阜県古川町商工会)
- ・原材料の上昇やこの時期受注工事の関係で収入が落ち込み資金繰りに影響あり。また、人や設備投資には不安で手を出せず採算性が悪化するばかり。  
(茨城県日立市十王商工会)
- ・仕事量が増えて売上増と資金繰りが改善されてきているのは確認できるが、慢性的な人手不足が建築土木関係の仕事などに影響を与えている状況のため今後の改善は不透明なままである。  
(新潟県黒埼商工会)
- ・復旧復興需要が一段落した感があり業者間の格差が見え始めている。設備工事関係は猛暑の影響で空調の修理、新設に手が回らない事業者も見えている。  
(福島県矢吹町商工会)
- ・住宅メーカー下請。地区により受注量に差がある。技術力のある人での確保が難しく、受注の集中時の外注等による採算の悪化が懸念される。  
(埼玉県東松山市商工会)
- ・建設業においても大きな変動はないが、資材・燃料等の値上がりにより経費のコストダウンに至っていない。  
(北海道枝幸町商工会)
- ・都市部の建設ラッシュや豪雨災害により県外に人手が流れ、深刻な人手不足が続いている。また、公共工事は減少気味であるが、住宅関連は堅調である。  
(香川県さぬき市商工会)

### 4. 小売業

#### <改善傾向を示すコメント>

- ・外国人客が立ち寄る店は特に順調の様子。全体的には良好状態と思われるが、観光関連との取引や観光客の利用の有無で業況に差があると思われる。  
(山梨県河口湖商工会)
- ・食料品や家電品は前年並みを維持している。気温の上昇を受けて、飲料水や夏物食材は好調の模様。  
(山梨県甲州市商工会)
- ・衣料品小売業は酷暑の影響もあり薄手の夏物の売上が伸びており前年同月比でも好調である。食料品小売業ではアルコールを除く飲料、家電小売店ではエアコンや扇風機などの売上が大きく伸びている。また、海の家でも利用客の増加と飲料の売上が伸びており、来月も引き続き高い伸びを期待する声をよく耳にする。  
(千葉県南房総市内房商工会)

・食料品関連の小売業は、西日本豪雨と猛暑の為、スポーツ飲料の仕入に制限がかかり在庫がない状況となっている。しかし規模も小さなお店なので業況に影響はない。

(石川県川北町商工会)

#### <悪化傾向を示すコメント>

・豪雨災害の影響で、日用品以外の消費は買い控えや自粛ムードで厳しい。

(広島県呉広域商工会)

・猛暑及び豪雨の影響により、清涼飲料水の仕入が遅れる・アイスが品薄になるなどの影響がでている。飲料水やアイスは売れているが、食料品全般に動きが悪くなっている。

(鹿児島県かごしま市商工会)

・売上の微減傾向は依然として続いている。例年より梅雨明けが早く猛暑が半月以上続いており、清涼飲料等の売上は増加した一方、高齢者を中心に外出を控える傾向があり、消費の押し上げにはあまりつなげない。

(新潟県妙高高原商工会)

・猛暑の影響もあり外出する人が減っており来店者もやや減っている様子。(衣料品小売業)

(長野県佐久市望月商工会)

・小売業も全体的には底を打った状況でこれまでよりも好転の兆しが見られる。但し、衣料品小売業のみ売上は厳しい状況にある。その他不安材料として、異常な暑さが続くと外出が減ることから消費の停滞に繋がらないか危惧している。

(福岡県鞍手町商工会)

・小売業では、運送費用の上昇などを受けて、値上がりの傾向は続くと見られる。更に、7月の猛暑が食品仕入価格上昇の形で影響。一部の食品小売店では、猛暑の中で来店する高齢客のため、休憩、水分摂取のサービスを提供。

(静岡県富士市商工会)

・衣料品関連の小売業は、6月中旬から続く猛暑により夏物商品の販売時期が前倒しとなったため、本来のピーク期になるはずの7月が減速してしまった。食料品関連の小売業は、仕入コスト上昇により採算が悪化した。耐久消費財関連の小売業は、猛暑によるエアコン販売が引き続き好調である。

(山形県寒河江市商工会)

## 5. サービス業

#### <改善傾向を示すコメント>

・観光需要にけん引され、マリンスーツサービス業は好調である。設備更新で融資相談も多い。

(沖縄県石垣市商工会)

・猛烈な暑さにより、氷関連の飲食店の売上は伸びている。

(山形県高畠町商工会)

・家電設置・修理等のサービス業はエアコン設置・修理等の依頼が殺到し、毎日フル稼働している。

(宮崎県佐土原町商工会)

・理美容関連のサービス業は、猛暑によりカット客が例年より増加した。

(山形県寒河江市商工会)

#### <悪化傾向を示すコメント>

・小規模飲食店の苦戦が続いている。仕入れ原価も上がり、薄利となり、忙しくなると人手が不足し、来店客の満足度が低くなり、リピーターとして来店していない

(静岡県函南町商工会)

・旅館業は7月後半からの林間学校等の入込は例年並みである。洗濯業は原油高により収益確保が困難な状況である。

(長野県山ノ内町商工会)

・クリーニング関連は、好天続いたため需要が停滞した。

(愛知県長久手市商工会)

・宿泊業は夏休みに入り繁忙期のピークを迎え、客入り、売上ともに好調だが折からの人手不足で従業員がオーバーワーク気味である。自動車整備業においても酷暑に関連する修理依頼が多く、人手不足との声をよく聞くようになった。一方、クリーニング、理美容業には大きな変化もなく、依然厳しい経営環境が続いている。

(千葉県南房総市内房商工会)

・飲食店では、原材料の運搬費の上昇だけでなく、供給減による価格上昇を転嫁することに難しさを感じている。特に7月の猛暑により、野菜や海産物の収穫に影響が出ており、店側が仕入に困難を感じている。石油製品を多く使用する業種(クリーニング)も石油価格上昇に困惑。

(静岡県富士市商工会)

・観光関連のサービス業は、例年よりも早い梅雨明けにより観光客の増加が見込まれたが、記録的な猛暑により観光イベントの中止や外出の抑制などにより人出が低迷している。

(新潟県寺泊町商工会)

・旅館については、企業の工事での利用がメインであるが、企業の工事が減少しており厳しい状況であるとのこと。洗濯については、節約志向からか、以前Yシャツを出してくれていた方の利用が減少しているため、売上も減少しているとのこと。

理・美容については、シャンプーなどのメーカーからの物販の仕入れ価格が上昇傾向にあるため、やや利益を圧迫しているとのこと。

(静岡県浜北商工会)